

# 授業科目 経営組織論

【担当教員名】 丸山 一芳		対象学年	3	対象学科	情報
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	
◎		○		○	
【概要】 「共通の目的・互いに貢献する意欲・コミュニケーションという三つの要素があり、意識的に調整された2人またはそれ以上の人々の活動や諸力のシステム」として本講義では経営組織をとらえていく。 事業活動における目的を達するために組織はいかなる構造を用い、風土を醸成しているのか？または、組織成員がたがいをどのように動機づけ、いかなるリーダーシップを必要とするのか？といった諸問題について学習する。 なお、本講義は経営組織に関する基礎的な知識を学ぶためのものである。 したがって、経営組織を考える上で基礎となる概念や枠組みなどを概説するとともに、具体的な事例の紹介やケースディスカッションなどもまじえながら、現実の問題への応用も視野に入れて理解する。 また、一般企業だけでなく医療や福祉に関する組織を事例として学ぶ。 すなわち、理論を用いて組織を分析する力や、実際に組織成員として勤務することや組織を運営する力の基本を身につけることを目的とする。					
【学習目標】 企業活動における組織構造およびそこに配置された構成員によって生み出される組織現象について、次のような項目について基礎的な理解を習得する。 1) 組織構造の形成 2) 組織構成員への働きかけ 3) 組織の諸特性 4) 組織の変革					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	経営組織論の概要、講義の進め方や成績評価方法に関するオリエンテーション				
2	経営組織論の理論的發展史				
3	組織観と人間観				
4	組織構造				
5	事例研究（1）				
6	組織文化と経営理念				
7	日本的経営				
8	グループワーク（1）				
9	モチベーション（1）				
10	モチベーション（2）				
11	事例研究（2）				
12	リーダーシップ				
13	組織変革				
14	人的資源管理				
15	経営組織論のまとめ				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	
教科書 (必ず購入する書籍)				<発行所> <発行年・価格 他>	
参考書		組織論 補訂版（有斐閣アルマ）	桑田耕太郎、田尾雅夫	有斐閣	2010・2,205円
		キャリアで語る経営組織 - 個人の論理と組織の論理（有斐閣アルマ）	稲葉祐之、井上達彦、鈴木竜太 他	有斐閣	2010・2,205円
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】 講義貢献（発言・質問）10%、レポート20%、グループワーク20%、期末テスト50%の配分で総合評価する。			【履修上の留意点】 ・講義資料を中心に授業を行う。 ・その時々々の時事問題についても解説するので、日本経済新聞等の経済・経営に関する新聞・雑誌を読んできて欲しい。 ・毎回、質問と討議の機会を設けるので随時発言して欲しい。		